

授業科目	栄養治療学Ⅱ (Aクラス)				単位	2		
履修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21803J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	彌永 清子							
授業概要	<p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、各疾患の成因・病態、治療法ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケアの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。7回目以降の授業形態は、遠隔授業として実施する。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。 2. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 3. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 4. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。 5. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 6. 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べるができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50						50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5						5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～6 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。 2. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 3. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 4. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。 				

			5. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 6. 医療における栄養管理の意義、管理栄養士の役割を述べる ことができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間 (分)
1	テーマ:消化器疾患 2<小腸・大腸> 炎症性腸疾患、過敏性腸症候群の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:炎症性腸疾患、過敏性腸症候群の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
2	テーマ:消化器疾患 3<肝臓> 肝炎、脂肪肝、非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:肝炎、脂肪肝、非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
3	テーマ:消化器疾患 4<肝臓> 肝硬変(代償期・非代償期)の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:肝硬変(代償期・非代償期)の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
4	テーマ:消化器疾患 5<胆嚢・膵臓> 胆石症、胆嚢炎、膵炎の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:胆石症、胆嚢炎、膵炎の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
5	テーマ:腎・尿路疾患 1 各種腎疾患の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:各種腎疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
6	テーマ:腎・尿路疾患 2 腎臓病食品交換表の使用方法について解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:腎臓病食品交換表の使用方法について整理し、理解する。	30 30
7	テーマ:腎・尿路疾患 3 糖尿病腎症、血液・腹膜透析の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:糖尿病腎症、人工透析の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
8	テーマ:循環器疾患 1 高血圧症の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:高血圧症の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
9	テーマ:循環器疾患 2 動脈硬化、脳卒中、虚血性心疾患、心不全の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:循環器疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30

10	テーマ:血液系疾患、歯・筋骨格疾患、がん 貧血、白血病、骨粗鬆症・くる病、消化器がん等の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:血液系および歯・筋骨格疾患、消化器がん等の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
11	テーマ:呼吸器疾患 慢性閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:呼吸器疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
12	テーマ:術前・術後、クリティカルケア、栄養障害、摂食・嚥下障害 術前の栄養マネジメント、消化管術後、外傷、熱傷、栄養障害、摂食・嚥下障害等の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:術前・術後の栄養管理、侵襲時、栄養障害、摂食・嚥下障害等の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
13	テーマ:ライフステージにおける疾患 妊産婦・授乳婦の妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群等、小児の食物アレルギー、肥満、糖尿病等、更年期障害、高齢者の低栄養、褥瘡等の病態と栄養ケアについて解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:ライフステージにおける疾患の病態と栄養ケアについて整理し、理解する。	30 30
14	テーマ:まとめ 講義内容全体のまとめを行う。	講義	予習:講義全体を見直し、試験の準備をする。 復習:なし。	60 0
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	疾患の成因・病態および治療法に関する知識を必要とする。
テキスト	吉田勉監修:「わかりやすい臨床栄養学」(三共出版) 奈良信雄著:「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版) 黒川清監修:「腎臓病食品交換表(第9版)」(医歯薬出版)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	成績評価として、試験を実施する。 詳細については、授業の中で説明する。